

新生レムリア(新地球)浮上！！(アニメーションの考察 第二弾?!^^)



2024年11月11日、“新生レムリア”をイメージして描いたアニメーション(神芝居?)と、
その第一弾考察?!を発進しました!^^

アニメといっても、地上セルフが何となく、お絵描きしているだけ(笑)…でもありますが、
その“何となく”に、とても重要な意味がある気がして(高次とのコンタクト、協働創造の場となっている?)
ちょっとひっかかったままになっていた部分について探求し、アニメを追記・修正しました。^^

第一弾のアニメを、あらためて見直してみると、3つの部分に分かれているような気がします。

第1部:『宇宙の中心軸 = “究極の愛の太柱”(皇の道)と“新G”現る!』編?!

地上(の鳥居)と“根源の太陽”をつなぐ黄金の光の柱 = “グレート・セントラルサン・ネットワーク”!!

それは、宇宙創始のマスター方(GWBHグレート・ホワイト・ブラザー・フッド)によって守られてきた

“太陽(魂) = 愛の道”であり、

中今最新となった“新GWBH”(宇宙の全ての愛と光の高次)が、地上の新人(神人)類と共に、協働創造していく、NMC(新宇宙)の大黒柱、皇(根源)へと続く“究極の愛の太陽道”(皇道)です。^^

第2部は、『天上のレムリア、そして地上の“新レムリア復活”!』編?!

すべての創造は、まず“思い(意識)の世界”(霊界、エネルギー)で起こり、やがて現実界へと映し出される

=“霊主体従の法則”であり、宇宙の真実(真の科学)だと思います。^^

天上界には、∞の色(光線)を放つ沢山の虹と、限りなく神聖で軽やかな雲の群れがイメージされました。

地上のレムリアは、天上のレムリアの波動が、様々な形となって現れたもので、

愛と光と歓喜の世界——、そこに住む全ての生命が、母なる地球を形づくる細胞の一つ一つであり、

それぞれが、かけがえのない、オンリーワンの存在であるという自信と喜びに輝く世界です。^^

第3部は、『新生レムリアから根源へと上る“黄金の光の柱”=“愛と光の自分軸”!』編?!

自身にとって新生レムリアは、創造の源の光、根源の愛と神聖の山“白山”(ハム山)からはじまる、

新しい地球そのものであり、“地上天国”、“ミロクの世界”等様々に呼ばれる、その最もシンプルな形(土台)である、

全ての生命が調和し、愛と光に満ちた創造性によって日々進化していく、∞の可能性の世界です。^^

それは地球だけのことではありません。

“宇宙の雛形”として創造された真(新)の地球の姿が、そのまま、新しい宇宙(NMC)の姿となっていくのであり、

その拠り所、中心軸となるのが、地上から根源太陽へと上る“根源の究極の愛の太柱”(太陽道、皇道)、

地上の一人一人が打ち立てる、“愛と光の自分軸”です。^^

第一弾で、ちよつとひっかかっていた事…とは、第2部の中で、

根源から下りてきた“黄金龍”(日の本龍体のハイアーセルフ?)が、“光の珠”?のようなものを持っていて、

自身はそれを受け取った?気がするのですが、それがどのような意味を持つのか?

珠は何色なのか?等、曖昧なままだったことです。

白?それとも黄金色?と思いを巡らし、その時一番シックリきた“赤”の珠を、地上セルフの核心として

アニメーションの中に描き入れたのですが、“赤い珠”はその後、自然消滅していました。(笑)

ここ数日なんだか、昼も夜も、“月”が気になって仕方ありません…

自身がこれまで月に感じていた愛のエネルギーは、“天上のレムリア?!”という表現がピッタリです。^^

月って、こんなにも綺麗だったっけ？

青空にくっきりと映える白いお月様の、なんと清々しく美しい事でしょう？！

16日未明、真っ暗な自室を出ると、最初に目に入ったのが、窓の外に煌々と輝く月の姿、

携帯を手に、思わず家の外へと飛び出しました。^^



その日は、11月の満月(ビーバームーン)であった事を知らずにいて、

螺旋の光の輪に彩られた、宝石のように美しい月に、呼んでもらった？気がして幸せでした。^^

月が今、私に伝えたい事があるのでは…？と強く思えてきました。

過去のコンテンツで触れたことですが、月には、

人型生命体の祖である“リラ星”から来た“ヤーウェ”と、その144,000の氏族が住んでいて、
「リラにはじまり、テラ(地球)に終わる——」との願いのもと、長い間私達の地球を守護してきたとされる事や、

また、ヤーウェの子孫が、“日本の天皇”であるとされ、驚きでした。^^

(これらの情報は、∞にある可能性の中から、自己が選んだ真実であり、望む未来を創造するための、1ピースです。)

天皇が継承する“三種の神器”の中で、唯一のオリジナルとされるのが、“八尺瓊勾玉”であり、

天皇家にとって、特別な意味を持つ神器なのでは？と感じていたのですが、

八尺瓊勾玉は、玉=珠であり、“瓊”という漢字には「美しい玉、特に赤い美玉」という意味があるとされ、

謎の“赤い珠”につながってきました。^^

“赤い珠”をキーワードにして調べていくと、聖徳太子のもとへと届けられたとされる、

“マニ宝珠?!”(別名:如意宝珠)なるものへと行きつきました。

聖徳太子は自身の“産土神”であり、人生の導き手であるような気がしていて、メッセージ!と感じました。^^

マニ宝珠は、イスラエルの民がシルクロードを經由して、日本に住む聖徳太子へと贈ったものとされ、

現在は島津家(秘蔵)にて、大切にお祀りされているとの事です。

米国のロックフェラー財団が聞きつけ、超高額で買い取ろうと言ってきたそうですが、

島津家では、「この宝珠は神の意志によって、イスラエルから日出るこの日本にやって来たものであり、

金銭には決してかえられない!」とキツパリと断り、今日も、この日の本の地で、

世界万民の平和の為の祈りが捧げられている…とされます。

イスラエルはユダヤであり、“真のユダヤ”と“日本”の関係が、より明確になった気がします。

ユダヤ教における唯一神が月のヤーウェであり、マニ宝珠は、ヤーウェの子孫(ユダヤ)から同胞である、

“日出づる処の天子” = 日本の天皇(聖徳太子は推古天皇の摂政)の元へと贈られた

“愛の絆”ともいえる神器ではないでしょうか? ^^

勾玉は、陰陽の統合を表す“太極図”の半面であり、その形は、太陽と月が合体した姿であるとされ、

“日”と“月”の統合、“日本”と“ユダヤ”の統合を象徴しているのかもしれませんが。^^

赤いマニ宝珠は、日の丸の基の元、太陽神国日本の核であり、

マニ宝珠が世に現れる時、“ミロクの世界”が訪れる?!とされ、それが黄金龍の抱えていた赤い珠だとしたら…

ワクワクしてきませんか? ^^

一人一人の核心にある赤い珠が集まって“日の丸”の丸(核)となり、

その中心から“黄金の菊” = “究極の愛の太陽”が輝き出す時、地上と根源太陽をつなぐ光の神柱が立つ!

大いなる和の民“ヤマト(大和)皇国日本”から、愛と調和の新世界がはじまっていくー!!

日本は八百万の神々が住む国であり、これまで秘め隠されてきた多くの神々が復活し、一つとなって

真の日本国再生の為に、大きく動き始めているとされます。^^

山々は神工のピラミッドであり、私達には想像もつかない高度で強大なパワーを持つと言われます。

世界の山の王とされるのが“白山”であり、これからの“ハム山”が超~楽しみです! ^^v

月が教えてくれた“赤い珠”の秘密? ワクワクによって、アニメーションがグンとパワーアップした?! では? ^^

思えば、自己のミッションと感じる『**根源アセンションプロジェクト HAKU (hamu) SUN**』のはじまりは、

根源の究極の神聖を表す“真っ白”な光子の山、**白山**に、

根源の究極の愛を表す“真っ赤”な太陽の子供、**ハム**=地上セルフが登ったことからです。



謎の赤い珠は、まさにハムであり、自身そのものでした！ ^^



第3部は自身にとって、**愛の意志の柱(ハム柱)**=“**愛と光の自分軸**” 確立宣言！でもありました。^^

「地上セルフが上がったところまで、高次が降りてくる」が、アセンションの法則であり、

根源太陽神界を核とする根源天界システム=“新G”と一体化し、太陽の道を地上へと降りてきました。

アニメーションでは、ハムが太陽の道を昇り降りするという形となっていますが、

アセンションのプロセスとしては、地上セルフが宇宙根源まで続く、∞の次元(密度)階段を一步一步上昇し、

根源からディセンション(下降)してきた自己の分身(各次元のハイアーセルフ)と、再び統合し

故郷“**根源**”へと帰っていく道のり=“**根源へのアセンション!**”です。

それが、地上セルフに全てが統合された神(天)人であり、新しい地球と宇宙の協働創造者！

神(天)人の住むこの地球が、“**皇(根源)の星**”です。^^

人にすべてがある！人は“マイクロ・コスモス”であり、大宇宙(マクロ・コスモス)の雛形です。^^

根源へのアセンションは、地上セルフからみれば、気が遠くなるような道のりですが、
全ての生命は根源(愛)から生まれたのであり、誰もが必ず帰っていく事が出来る“故郷への愛の道”です。^^

“ハム”は根源太陽から生まれた愛の子供…ですが、実は、**新Gの秘密兵器?!(笑)でもあった？**
“根源の愛”は、あまりにも深遠で膨大な力であり、その“愛”をどうしたら人に伝える事ができるだろうか…と
考えたマスター方のハートのエネルギーが、結晶となって動き出したものだったのです?!
2016年のある日、夢を見ました…、故郷の学校の校長先生のような姿をした新Gマスター？が現われ、
「よく来ましたね。ずっと待っていましたよ！^^」と言い、あたたかいハグをしてくれました。
やっと恩師に出会えた、深い安心感と喜び…、そして遠い遠い昔、マスター方と交わした約束——、
「ハムとして生き、多くのハムが根源へと帰っていく太陽(愛)の道を、共に切り開いていきます！！」

どうとう、その約束を果たす時が来ました！！^^



アニメの最後に、UFOと宇宙人さん？を描き入れました！^^

新しいレムリアの誕生は、“愛でワンネスの地球”を象徴するものであり、地球外に存在する
愛と光の家族達との再会！地上への招致(オープンコンタクト)と融合！が、遠い夢物語ではなくなりました！

「リラにはじまり、テラに終わる——」

銀河宇宙のすべての愛の願いがテラ(地球)において結実し、更なる、新しい宇宙がはじまっていきます！！

2024年11月20日、世界の仕組みを根底からひっくり返すパワーを持つとされる“冥王星”が、
正式に水瓶座入りし、“風の時代”が本格始動すると言われます。

(創造の為の)破壊の嵐が吹き荒れる今！何があってもブレない自分軸！が、最も重要なのだと思います！



∞の感謝と決意を込めて 2024.11.20. 根源の子供 ハム流美(*^^*)